

新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

皆様とこの良き日をお祝いできましたこと、大変うれしく感じております。当施設におきましては、昨年6月にコロナクラスターを発生させてしまい、皆様方には多大なご迷惑をお掛けすることとなり、大変申し訳なく感じております。現在はおかげ様で施設内ではコロナやインフルエンザといった感染症発症者は確認されておらず、とても穏やかな正月を迎えることができました。しかしながら、多数の施設からはノロウイルスによる集団感染が報告されており、予断を許さない状況が続いております。

このような状況下のため、今年の新年祝賀会も感染症予防対策として、ご家族様をお招きして盛大に行うことが出来なくなりましたことお詫び申し上げます。

さて、今年は今和も6年となり干支で言えば辰年でございます。

令和6年の辰年は「十干十二支」の組み合わせでは「甲辰」の年になります。この「甲」の持つ意味でございますが、第1位（1番目）であり、優勢である事を表す意味の他に「真っすぐに堂々とそそり立つ大木」という意味を表しているそうです。

そして「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物である「龍」を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたい事が起こる」と伝えられてきました。

この2つの組み合わせである「甲辰」は、「新しい事を始めて成功する、今まで準備してきたことが形になる」といった縁起の良さを表している年と言えます。今年は今和ステージ深大寺も、この「甲辰」の年に相応しく、真っすぐ堂々とそそり立つ大木の様な存在になることを目指し、皆様方が増々いきいきと暮らしていけます様、また新たな試みも積極的に取り入れて参りたいと思います。4年にも及ぶコロナに対する我慢が実り、これからは制限のない何気ない毎日に幸せ感じていただけるよう、この今和ステージが更に居心地良く、笑顔溢れる温かな場所にしていくため、職員一同精進して参りますので、本年も皆様方の変わらぬご支援・ご指導の程、宜しく願い申し上げます。

最後になりますが皆様方のご健康、ご多幸を祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

令和6年1月1日
今和ステージ深大寺
支配人 岩間 健至